

ふるさと教育 取組事例

学校名	邑南町立石見中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
2	総合的な学習 の時間	これからの福祉を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・ 邑南町教育委員会生涯学習課 ・ 邑南町役場福祉課 ・ おおなん福祉会
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人と関わりながらの体験を通して、高齢者福祉及び障がい者福祉について知識や理解を深める。 ・ 各自で考えた課題について調べることを通して、共生社会の実現に向けて、自分たちにできることを考え行動しようとする態度を育てる。 		
<p>1 取組の概要</p> <p>① 生涯学習課の方からパラリンピックやパラスポーツについての話しを聞き、実際にゴールボールの体験を行う。</p> <p>② おおなん福祉会の人を招き、認知症についてや認知症の方との接し方について話を聞く。</p> <p>③ 社会福祉協議会の方から高齢者及び障がい者福祉についての話を聞き、疑似体験活動を行う④ 邑南町福祉課の方から、邑南町の福祉制度について話を聞く。</p> <p>⑤ ①～④の学習をもとに個人で学習課題を設定する。</p> <p>⑥ 設定した課題について仮説を立て、情報を収集して整理し、工夫してまとめる。</p> <p>⑦ まとめたことを効果的に発表し、他の人の発表に対する自分の意見をもつ。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉に関する地域の実態や取り組みを知ることで、地域の現状を知る。 ・ 地域の方との交流を通して、ふるさとへの思いを深め、今後の生き方を考えさせる。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の知りたいことから課題を設定し、それを解決するためにさまざまな方法で情報を収集する力。 ・ 自分の調べたことや考えを伝えるために、構成を工夫したり資料を活用したりなど、工夫して発表する力。 <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等） (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 邑南町の福祉がめざしているものが「共生社会」であることがわかり、改めて自分の住む町のすばらしさに気づくことができた。 ・ 自分の行動を見直し、今後の自分にできることについて考えることができた。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の現状をふまえて課題を設定したり、国際交流員など地域に住む人と関わることを通して課題を解決しようとするすがたが見られた。 ・ 複数の資料から情報を収集し、写真やタブレット等を活用してまとめることができた。 <p>4 課題や今後の展望</p> <p>地域の方に学校に来ていただく形での交流活動はできた。新型コロナウイルスの感染拡大も懸念され、こちらから出かけていっての活動がほとんどできなかった。現地での関わりを通して学ぶことも多くあると思うので、状況が許せばそれらの活動も積極的に取り入れていきたい。</p>			

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)



* 取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。
(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)